

ながはま見聞録

Nagahama Hotnews

このコーナーは、長浜の見どころ、市民の皆さんの活動の様子やまちで見かけたほっとな話題を紹介し、あなたが知っている旬の話題などがあれば、市民広報課(☎65-6504)までお知らせください。

10月17日(土)

和装でまち歩きを満喫

湖北観光情報センターで、「きものDE長浜」のオープニングセレモニーが行われました。このイベントは来年3月10日まで開催され、和装で散策する人は、慶雲館などの施設の無料入館や飲食店での割引が受けられ、抽選会にも参加できます。

セレモニーでは藤井市長や長浜きもの大園遊会運営委員会の上羽輝明会長ら、和装を身にまとった関係者およそ30人が参加し、イベントのスタートを祝いました。



10月17日(土)

互いに尊重し、自分らしくいられる社会に

虎姫文化ホールで長浜市女性の活躍応援プロジェクト「第2回長浜女性会議」が開催され、市内を中心に活動する「まちなかえんげきワークショップfurico」によるコメディ演劇「Oh! My DADDY!!」が上演されました。

結婚に疑問を感じた女性をめぐる家族のバトルを描き、男女の役割や家事の負担について考えさせられる内容で、笑いあり、涙ありの演出に会場は大いに盛り上がっていました。

10月17日(土)

乳がんを知り、命の大切さを考える

乳がんの早期発見と正しい知識を広めるための啓発イベント「ピンクリボンin湖北」が行われ、長浜城がライトアップでピンクに彩られました。

今年は規模を縮小しての開催でしたが、コロナ禍に立ち向かう医療従事者の皆さんへの感謝の気持ちを込めたライトアップも行われ、長浜城の色が時折ピンクからブルーに変化。自分や大切な人の命について考えるよい機会となりました。



10月19日(月)~25日(日)

全国のローズウィンドウ作家が集結!

えきまちテラス長浜で「2020全国ローズウィンドウ展」が開催されました。スタンドグラスや宝石のような輝きを放つペーパーアートで、中山真季さんが図案を考案しました。

全国の作家・講師の作品71点が展示され、ライトアップされた色彩豊かな作品に来場者は目を奪われているようでした。中山さんは「発祥の地の長浜で、多くの市民の方に触れてもらえると嬉しい。これからも発信し広めたい」と語りました。

長浜市公式 SNS

- 長浜の催しや風景など、自慢の一枚をInstagramに投稿してください。長浜市公式Instagramアカウント「#みんなのちょびっく」で紹介し、詳しくは市ホームページをご覧ください。
- 見聞録のイベントは市公式 Facebook ページでもさらに詳しくみることができます。



▲市ホームページ



▲ほっとにゆ〜す

10月26日(月)

「長浜市健康大使」に清水健さん

がん撲滅など多方面で活躍するフリーキャスターの清水健さんが、「長浜市健康大使」に就任しました。

清水さんは、チャリティー・ライブや「ピンクリボン運動」、寄附活動など、すでに長浜市内での活動も数多く展開。

「子どもたちのため、自分たちの体のためにできることを、パママと一緒に考えていきたい」と、子育て真っ最中の清水さんらしい思いを語りました。



10月30日(金)

地域全体で子育てを応援!

六荘まちづくりセンターで「ながはま まるごと 子育て応援フェスタ」が開催されました。

親子で体操を楽しむ教室や子どもと一緒に歌ったり、手をたたいたりしながら読み聞かせをする「絵本のひろば」が開かれ、参加した親子は、笑顔溢れる楽しい時間を過ごしました。

地域全体で子育てを応援していることを実感し、子育ての喜びや楽しさを感じてもらおう場となりました。

11月7日(土)

平和の尊さを次世代に継承

長浜市平和祈念式典が、湖北文化ホールで開催されました。

この式典は、戦没者の追悼と世界平和の祈念とともに、戦争を知らない若い世代へ平和への思いを継承していくことを目的に例年開催されているもので、約60人が参列しました。

式典では、戦没者への黙とう、市長による式辞、遺族会会長が追悼の言葉に恒久平和への願いを託しました。また、参列者全員による献花が行われ、平和への誓いを新たにしました。



11月7日(土)

体感! 新しいライブの形

車から降りずにFMカーラジオでライブを楽しむ「ドライブインライブ」を音楽デュオ「Lefa」が開催。コロナ禍の中、新しいライブの形を探り、ソーシャルディスタンス実験ライブとして県内初の開催となりました。

参加者は、ステージで歌うアーティストの姿を車から見ながら音楽を楽しみ、車のライトのパッシングなどで、アーティストにエールを送っていました。